

## 第11回 善通寺市学校等再編整備討委員会 概要

1. 日 時 令和7年9月29日(月) 午後7時～午後8時23分  
場 所 善通寺市役所4階 401～403会議室

### 2. 出席委員

|       |    |        |    |
|-------|----|--------|----|
| 片山 昭彦 | 委員 | 高畑 智   | 委員 |
| 畑田 裕康 | 委員 | 米村 徹   | 委員 |
| 大林 勇太 | 委員 | 横田 飛真  | 委員 |
| 西川 真有 | 委員 | 宮武 有奈  | 委員 |
| 徳山 恵  | 委員 | 田嶋 三枝  | 委員 |
| 町田 由紀 | 委員 | 山本 幾代  | 委員 |
| 井内 礼子 | 委員 | 大西 英和  | 委員 |
| 森江 清文 | 委員 | 田中 康隆  | 委員 |
| 松村 早記 | 委員 | 草薙 めぐみ | 委員 |
| 高畑 光宏 | 委員 |        |    |

### 3. 市側出席者

教育部長 尾松 幸夫

学校再編対策課

課長 山地 匠 課長補佐 内田 貴史 課長補佐 林 健一郎

教育総務課

課長 高畑 往立

### 4. 議 事

グループワーク 小学校の再編について

全体会議

## 5. 概 要

〔事務局〕

本日は、昼間のお仕事等でお疲れのところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第 11 回の学校等再編整備検討委員会を開催します。片山会長、進行の方をよろしくお願いします。

〔会長／議長〕

こんばんは。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

中間報告を市長にお渡しをさせていただきました。いろいろ市長から質問がありましたが、滞りなく進んでおりますという報告をさせていただいています。今から小学校という大きな山場に入っていきますので大変になるかと思いますが、ぜひいろいろな意見を出していいものを作っていきたいと思いますので、ご協力をなのことよろしくお願いします。

今日の議論も前回と同様にグループワークでお願いしたいと思います。今日、議論をしっかりしていただいて、グループごとにその内容をまとめて、それを事務局に提出し、それをたたき台として、次回の検討委員会で議論していきたいと思います。最初から大きなグループですとなかなか意見が出にくいのでグループワークという形を踏襲しながらいきたいと思います。今回グループワークで出た意見を発表していただいて次回につなげたいので、グループごとに発表する方とまとめていただく方を決めてください。

以前の学校等の在り方検討委員会では、「小学校の校数は、2校または3校とするのが望ましい」という結論でした。なので、2校案、3校案のメリット、デメリットを考えていただいて用紙にまとめてください。まず、2校案を先に議論し、15分後に3校案に移っていただくようにして、両案とも均等な時間で議論してもらいたいと思います。その後全体会議に移ります。もし、2校案、3校案以外の案がでてきたとしてもかまいませんので、2校案、3校案にとらわれず提案していただけたらと思います。

何か質問はありますか。

〔委員 A〕

2校案に①と②がありますが、①と②をあわせて15分でしょうか。

〔議長〕

はい。

〔議長〕

それでは、事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕

本日の進め方を説明します。会長からの説明と重なるところがありますが改めて説明します。今回のグループワークでは、小学校の再編について議論していただきたいと思います。学校等の在り方検討委員会の提言では、「小学校は2校または3校とするのが望ましい」という提言がされていますので、2校案、3校案それぞれのメリット、デメリットを議論していただきたいと思います。この後資料の説明もいたしますので、その資料も参考にして考えていただけたらと思います。

資料の数は多いですが、たたき台ですので、それ以外の考え方もあると思います。違った考えや、別の案がありましたら、そういうご意見も遠慮なく出していただきたいと思います。グループ内で出たいろいろなご意見をできるだけ把握して、次回の資料としたいので、メモ書き程度で、まとめる必要はありませんので、どなたかに記録係をお願いします。

では、今回の資料について、説明させていただきます。

〔事務局〕

今回からは、いよいよ小学校の再編についての検討が始まるということで、小学校の配置に関する案のたたき台を用意しました。学校等の在り方検討委員会において、「小学校は2校または3校とするのが望ましい」とされているため、資料についても2校案と3校案を作成しています。資料の数は多いですが、いろんなパターンをお示しするこ

とで、より柔軟なご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは説明の前に資料の確認をお願いします。今回は資料1から資料5までと、学校再編に関するアンケートについての資料がありますが、アンケートについては後で説明させていただきます。

まずは資料1から資料5までを説明いたします。資料は案ごとにまとめていて、資料1は、小学校2校案の①の児童数及びクラス数予測と、それを地図におとした配置案である資料①-1です。資料2は、小学校2校案の②で児童数、クラス数の予測と、その配置案が②-1から②-3の3パターンあります。資料3は、3校案①の児童数クラス数予測と、その配置案③-1です。資料4は、3校案②の児童数クラス数予測と、その配置案が④-1、④-2の2枚あります。資料5は、現在の各小学校の校舎の状況をまとめた表と、参考までに校舎と運動場の面積の基準を示したものです。不足等ございませんでしょうか。それでは資料の説明をさせていただきます。

資料1の児童数及びクラス数予測をご覧ください。2校案①の資料ですが、この2校案は一番みなさんも想像しやすい、現在の東西中学校の校区で分けたパターンです。東部、南部、竜川、与北、現在の東中校区をカバーするA小学校と、中央、西部、筆岡、吉原の現在の西中校区をカバーするB小学校に分けています。

この後お示しする案についても同じですが、小学校を2校、3校にした場合の児童数がある程度把握することが必要ですので、例えば、中央校区の半分はA小学校、半分はB小学校のように同じ校区を2つに分けるのは、児童数を把握する都合上、今回は想定から外していますので、ご了承ください。

また、1クラスは35人で考えています。

この2校案①ですと、A小学校は2025年時点で児童数783人、26クラスということで、1学年4クラスを超えており、2050年でも603人、20クラスと各学年でクラス替えのできる複数クラスを十分に確保できると考えられます。

またB小学校も同様に、2050年でも1学年3クラスは確保できると予測しています。

特支のクラスについては、予測ができませんので、現在のクラス数で考えています。

A 小学校で 7 クラス、B 小学校で 6 クラス必要になるとしています。

この案を地図上におとした配置案が資料①-1 になります。図の見方ですが、緑色の丸が新しい小学校の候補地を表しており、そこを中心とする赤い輪が中心から約 2 km の範囲を示しています。これは他市の情報も参考にさせてもらっていますが、徒歩通学の範囲の目安として表示しています。また、青色の点線の丸は、これまで検討してきた現段階での公立こども園の候補地を示しています。

また、前回の検討委員会において中学校は東中学校に 1 校という案が、現時点では有力であることから、そうなった場合、西中学校は空きますので、すべての案の共通点として、現在の西中学校に小学校を配置することを前提にしています。そうすることで、市有地の確保が容易になるところが最大のメリットと考えています。

2 校案①でいえば、西中学校の場所に B 小学校を配置し、A 小学校を現在の東部小学校に配置するという案にしています。A 小学校を東部小学校に配置しているのは、A 小学校のカバーする範囲が竜川から南部と南北に非常に長い範囲となっているため、できるだけ市の中心部に近い場所で、ある程度の規模がある学校がいいと考え、東部小学校を想定しています。

次に資料②をご覧ください。2 校案②ですが、2 校案①はカバーする範囲を東西に分けましたが、2 校案②は南北に分けた案になります。この案の A 小学校のカバーする範囲は、東部、竜川、筆岡、吉原とし、B 小学校は中央、西部、南部、与北をカバーすることとしています。この場合、A 小学校の児童数は 2 0 2 5 年時点の予測で 9 6 0 人、3 0 クラスという規模の大きな学校となり、逆に B 小学校は 4 3 8 人、1 5 クラスと、南北で児童数の差がかなり大きくなってしまいます。

資料②-1、②-2、②-3 をご覧ください。これら案の配置案ですが、1 校目は西中学校と同じですが、2 校目を竜川小学校、東部小学校又は筆岡小学校に配置する 3 パターンをお示ししています。たたき台ですので、いろんなパターンをお示ししています。校区の分け方も、配置案も、これをたたき台として新しい案を出していただいていいと思います。

次に資料③をご覧ください。ここからは 3 校案になります。

まず、3 校案①ですが、A 小学校は竜川、与北、B 小学校は中央、西部、南部、C 小学

校は東部、筆岡、吉原という分け方にしています。この案では、2050年時点においても、どの学校も1学年に複数のクラスを確保できるのではないかと予測しています。資料③-1の配置案をご覧ください。A小学校は竜川小学校に、B小学校は西中学校に、C小学校は筆岡小学校に配置することとしています。

次に資料④をご覧ください。3校案②ですが、A小学校は東部、竜川、与北、B小学校は中央、西部、南部、C小学校は筆岡、吉原という分け方にしています。この案の場合、資料4の児童数クラス数の表を見ると、C小学校では2040年には3年生が1クラス、2050年には1年生と3年生が1クラスと、クラス替えのできない学年が出てくる可能性があります。配置図は2パターンあります。資料④-1、④-2をご覧ください。A小学校は東部小学校又は竜川小学校に、B小学校は西中学校に、C小学校は吉原小学校に配置しています。

最後に資料5をご覧ください。現在の各小学校の校舎の状況をまとめた表と、下側に、学校教育法に基づいた小学校設置基準で定められている校舎と運動場の面積の基準を示していますので参考としていただければと思います。

以上で資料の説明を終わります。

#### 〔事務局〕

それでは、グループワークを始めていただきますが、資料が多いですのでまずは2校案のメリット、デメリットを議論していただき、約15分経ったら事務局から指示しますので3校案のメリット、デメリットを議論してください。そして、全体会議の最初に発表していただきます。よろしくお願いします。

#### 〔議長〕

こども園の場合と同様に時間的な流れをくみながら検討してください。中学校は、東中学校とすることで進んでいます。そうなった場合、西中学校が空きます。その後、西中学校に小学校がはいるという案が提示されています。ただ、東中学校に中学校を移行するのにしばらく時間がかかりますので、まず中学校を移行してから小学校の再編にはいっていかなければならないので、時間的な流れをみると小学校は時間を取らないとい

けないと思います。ご理解いただけたらと思います。

では、グループワークを始めてください。

#### ～グループワーク／非公開～

〔議長〕

これからは全体での議論をしていきます。まず、グループワークで出た意見を発表していただきます。グループをA～Dとさせていただき、Aのグループから発表をお願いします。

〔グループA〕

2校案、3校案ともに再編が10年以上先であることを前提に検討しました。2校案のメリットとしては学校の規模が維持できることです。また、2校案①であれば、中学校区で分けられているので、子どもにとっても保護者にとっても馴染みやすいこと、スポーツ少年団等においても東西中学校区での活動もあることがメリットと考えます。それから、2校案は建設コストも抑えられるだろうということがメリットではないかという意見がありました。

2校案の①と②を比べたとき、学校どうしの距離が近かったり遠かったり、又は適度な距離だったりするのですが、学校から2キロの範囲が重なるところが大きい場合があるので、重なりが少ない方が良いのではないかという意見が出ました。

2校案のデメリットとしては、2校案②のように南北で分けた場合、善通寺市は宅地が北側に集中している傾向があるので、南側の学校の規模が小さくなり、家を建てたりするときに南側の土地が選ばれにくいのではないかという意見がありました。それから、2校案の場合は徒歩で通えない地域が広がるので、バスの台数がたくさん必要になりそのコストがかかってくるのではないかという意見がありました。

続いて3校案ですが、1学年2クラスを維持できるのであれば、3校案も選択肢としていいのではないかと思います。そのとき、徒歩通学のエリアが広くとれ、スクールバスのコストも減らせるのがメリットではないかという意見が出ました。

デメリットは、建設コストがかかること、2050年になるとクラス替えができなくなる学年がでるかもしれないということがあげられ、クラス替えできないのは、今から再編を考えていくうえで大きなデメリットではないかという意見が出ました。

C小学校を筆岡又は吉原に設置することについては、立地条件としては筆岡が良いと思うが土地の面積的には厳しいかもしれず、吉原に土地を確保するについても田園地帯を減らすことが良いのかどうかという意見がありました。

それから、資料5に市有地、借地について記載がありますが、将来的に市有地のほうがコストはかからないから、どのくらいの部分が借地になっているのかを知りたいです。また、中学校を1校で進めていくので、小学校は2校案にしても3校案にしても小学校どうしの規模感が同じぐらいのほうがいいのではないかという意見がありました。

#### 〔グループB〕

小学校の建設については2040年ではないかと考え、資料の2040年を見て議論を進めました。

2校案①は、2040年はクラス数が3～4クラス確保できるというメリットがあります。デメリットとしては、通学の支援、スクールバスが必要となってくるのではないかとことがあげられ、場所を東部小学校にしたときの通学路の改善の余地があるといった意見がありました。

2校案②は、2040年のクラス数がA小学校は4クラスあるのにB小学校は2クラスというように児童数の差がありすぎるのがデメリットとしてあげられます。また、駐車場の問題も生じると思います。

そこで、新しい意見ですが、A小学校は児童数の多い東部、竜川、筆岡がはいっているのを、A小学校を竜川、筆岡、吉原、与北とし、B小学校を東部、中央、西部、南部としたらクラスが同じくらいの人数になるのではないかと思います。

3校案については、資料の2040年をみると1学年2クラスの学校があるので、今から学校を造るにあたり1学年2クラスの学校を造るのは現実的ではないと思います。



〔グループC〕

2 校案のメリットは、中学校区に分けることはわかりやすいこと、こども園が2園なので小学校も2校のほうがスムーズに移行できるのではないかという意見が出ました。デメリットは、通学距離が課題であり、スクールバスの運用を考えなければならないことだと思います。それから、2校案②は、児童数の差がありすぎるので、再編するのであればどちらも同じくらいの規模とした方が今後の子どもたちのためになるのではないかという意見が出ました。

3校案のメリットは、通学しやすくなることだと思います。デメリットは、こども園が2園なので小学校が3校になると、こども園で一緒だったのに小学校で離れてしまうことがあることだと思います。それと、児童数の減少によりクラス数が1クラスになってしまう学年がでることがデメリットだと思います。なので、3校案よりも2校案のほうが今後の善通寺市を考えるといいのではないかと思います。

〔グループD〕

2校案については、適正規模を考えると2校案①のように中学校区でいくのがいいのかなと思います。2校案のどちらの小学校をみても2050年においても同じくらいのクラス数を確保できるのでいいのではないかという意見が出ました。デメリットは、通学の距離だと思います。通学支援が必要な家庭が増えるのではないかと思います。それから、西中学校や東部小学校を再編後に使うにしても校舎は大規模改修が必要ではないかという意見が出ました。

3校案のメリットは、通学の距離が2校案より軽減されることだと思います。デメリットとは、2040年に1学年1クラスという学校がでてくるということであり、再編する意味があるのかという意見が出ました。

その他の案としては、現在の小学校8校は地元の方々の郷土愛といいますか、そういったものもあるので、できる限り減らさず4校～5校にしてはどうかという意見も出ました。

〔議長〕

ありがとうございました。

今、発表された方以外で補足しておきたいとか、又は事務局以外の案があるという方はいませんか。

〔委員〕

特になし。

〔議長〕

2校案のデメリットが3校案のメリットとして意見が出ていたと思います。このあたりを事務局にまとめていただけたらと思います。

それから、生徒数が少ない学校では教育においてメリットがあるといった意見が出るかなと思っていたのですが出てこなかったのも、改めて皆さんどうですか。そのような意見がこども園の議論のときにあったかと思います。しかし、小学校の議論では1クラスになるのを避けたいというのが共通認識でよろしいでしょうか。

〔委員〕

特になし。

〔議長〕

それでは、本日出た意見をもとに、事務局で次回に向けた資料の作成をお願いします。最後にアンケートについて事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕

前回の検討委員会で、中学校の再編について現在中学校に通っている子どもたちの意見を聞いてはどうかというご意見がありましたので、再編についてのアンケートを取ろうと思っています。中学生用のアンケートのほかに保護者用と教職員用のものを作りました。

まず、中学生用のアンケートをご覧ください。問2の「現在、善通寺市で学校等の再編について検討していることを知っていましたか。」では、どれだけ広まっているか、事務局として聞いてみたいところです。また、問3の「中学校の再編を検討していますが、東中学校と西中学校がいっしょになり1校となることについてどう思いますか。」では、中学生の率直な気持ちを聞いてみたいと思います。

次に保護者用のアンケートをご覧ください。問2は中学生用と同じです。問4では再編の是非について聞いていて「善通寺市学校等の在り方検討委員会から「中学校については、1校とするのが望ましい」という提言を受け検討をしています、中学校の再編についてどのように思われますか。」という質問にしています。その理由を問5の自由記述で書いていただくとともに、問3では「少子化の影響により学級数や学級の人数が減ることについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。」という質問で聞いています。

最後に教職員用のアンケートをご覧ください。問2は、中学生用、保護者用とは異なり「現在、勤務している中学校に対して、どのような思いがありますか」という聞き方にしています。問3と問4は保護者用と同じで再編の是非について聞いています。

このようなアンケートを取ろうと思いますがいかがでしょうか。ご意見がありましたらよろしくお願いいたします。

〔議長〕

皆さんいかがでしょうか

〔委員B〕

前回の検討委員会で中学生、保護者、教職員に対しアンケート調査をしてはどうか、と意見を出さていただいた。やはり、小学校や幼稚園の保護者といった当事者にアンケートを取ったほうがいいと思います。当事者の意見をちゃんと聞く機会になると思います。ちなみに、観音寺市や再編された自治体はどのようなアンケートの取り方をしているのか教えてください。

〔事務局〕

アンケート調査をしているところもあるし、直接対話をしているところもあります。また、検討委員会で議論を進めて、ある程度進んだところで意見を聞くところもあります。様々ですが何らかの形で意見を聞いているところが多いです。今回は中学校の再編に関するアンケートを作りましたが、こども園に関しても一定のタイミングでアンケートを取ることを考えています。

〔委員B〕

それでは、今回の調査は中学生、保護者、教職員だけということでしょうか

〔事務局〕

今回のアンケートはそうです。

〔委員B〕

アンケートを実施してくださるのですが、なぜ中学生の保護者からしか意見を聞かないのかという不平不満の声があがると思います。それに対しては、順次アンケートを取るようになっていますというように言ってほしい。そうすることで、保護者の皆さん、善通寺市で子どもを持つ親にとって、そのような説明をしていただくほうが安心できると思います。

また、この前の善通寺市の学校再編のニュースについても、保護者の方には切り取られた情報だけしか伝わっていないので、ちゃんと説明責任を果たしていかないといけないのではないかと思います。

〔議長〕

アンケートの形式はどのようなものですか。

〔事務局〕

アンケート依頼文にQRコードを載せてスマートフォンなどで回答してもらうことを

考えています。

〔議長〕

先ほど委員が言われたのは、中学校の議論だから中学生だけに聞くのではなくてという意味ですね。それなら、予算が許せば小学校の保護者や幼稚園の保護者にも聞いてみてはどうですか。そのうち小学校の議論になり関わってくるので。

アンケートの取り方は Google フォームか何かですか。

〔事務局〕

Logo フォームというものです。

〔議長〕

それであれば、予算的に問題なければ小学校とかも聞いてみてはどうですか。紙のアンケートを返送してくださいといってもなかなか返送する方は少ないかもしれないと思いますので。

〔委員C〕

ミッタメールで保護者の意見をとれば、コストがかからないと思います。やはり、アンケートは中学校だけでなく小学校、幼稚園の保護者からも意見をとってほしい。

〔事務局〕

検討します。

〔議長〕

アンケート対象をどうするのかを検討していただくとして、アンケート内容はどうか。もし、小学生に対して聞くとすれば文言が変わってくると思います。また、教職員となっているのは教員のほかに職員にも聞くということですか。

〔事務局〕

その予定です。

〔議長〕

アンケートを実施する時期はどうなりますか。先ほどの意見もありましたので事務局で検討していただいて、委員の意見を聞いてからがいいと思いますがいかがですか。

〔事務局〕

次回の検討委員会までに精査しまして、次回、委員の皆さんに見ていただいて同意が得られたらアンケートを実施するということでしょうか。

〔委員 D〕

アンケートの結果は公開されますか。

〔事務局〕

ホームページで公開予定です。

〔委員 E〕

アンケートは、ある意味、情報発信でもあるので、複雑になりすぎると読むのが大変なのですが、せっかく委員の私たちもここまで議論を重ねてきたので、伝えるものと言いますかもう少し情報量があってもいいのかなとは思いました。

〔議長〕

項目を増やすということですか。

〔委員 E〕

今は、この依頼文 1 枚だけが情報提供ですね。追加情報でどのようなものを渡せばいいかはもう少し考えないといけませんが、アンケートを取って意見を聞くだけでなく

情報発信の場であってもいいのかなと思いますので、そのあたりを考慮してアンケートを作っていただけたらと思います。

なお、質問項目はこのぐらいでいいと思います。

〔議長〕

事務局で情報提供についても検討していただいて案を作ってもらえますか。

〔事務局〕

承知しました。

〔議長〕

保護者のQRコードと生徒のQRコードは異なるのですか。

〔事務局〕

QRコードを別々にすることも可能ですし、QRコードを一つにして第1問目の選択肢で自分は中学生なのか保護者なのかという設問をいれてアンケートを作ることも可能です。

〔議長〕

二重に回答できないようになっていきますか。

〔事務局〕

二重に回答しようとするればできるかと思いますが、それを縛るのが難しいように思います。

〔議長〕

アンケートについては次回の検討委員会で時間を取ることができると思いますが、その他に意見はありませんか。

〔委員〕

特になし。

〔議長〕

それでは、以上を持ちまして、本日の会議を終了します。みなさん、たいへんお疲れ様でした。次回は10月20日の月曜日です。皆さんお忙しいと思いますが、どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

20時23分 終了